

第 21 回

衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会 議事要旨

開催日時 2013年11月22日 14:00～15:00

開催場所 一般社団法人衛星放送協会 会議室

出席者

委員長	鳥居 昭夫	中央大学 経済学部 教授
委員長代理	音 好宏	上智大学 文学部 教授
委員	石岡 克俊	慶応義塾大学 大学院法務研究科 准教授
委員	井川 泉	(株)シー・ティ・ビー・エス 代表取締役社長
委員	園田 義忠	(一社)衛星放送協会 常務理事
委員	仁藤 雅夫	(株)スカパーJSAT ホールディングス 取締役
委員	大江 淳彦	スカパーJSAT(株) 執行役員 マーケティング 本部長代行

事務局	木田 由紀夫	(株)スターチャンネル 代表取締役社長
	藤田 高弘	(株)東北新社 放送本部
	高井 衛	スカパーJSAT(株) 放送事業本部放送営業部長
	後藤 剛士	スカパーJSAT(株) 経営戦略本部経営企画部

【資料】

- ・ 議事次第、席次表
第 20 回議事録、議事要旨

21-1 委員会メンバーリスト	21-2④ [別紙 3] 第 29・30・31 回プラットフォームガイド
21-2① ガイドラインの運用状況について	ライン委員会(社内委員会)議事録
21-2② [別紙 1] 事業者連絡会開催状況	21-3 「普及促進委員会」開催の状況について
21-2③ [別紙 2] スカパー!/・スカパー!/プレミアムサービス 事業者動向	

1. 委員長挨拶

鳥居委員長より「第 21 回 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」を開催する宣言があった。

2. 事務局からの報告

委員長より、前回の議事録（案）並びに議事要旨（案）の確認が委員に対してなされ、了承された。

3. 申立の有無

事務局から、前回の本委員会から今日に至るまで、特に申立は無かったとの報告がされた。

4. 衛星放送のプラットフォームガイドラインの運用状況について

スカパーJSAT 代表委員による説明

ガイドライン運用全般について資料「21-2① ガイドラインの運用状況について」に則り、13 年 6 月から 7 月における状況説明があった。

(1) スカパーJSAT の事業者向け情報開示についての説明資料「ガ委 21-2②」

[経営者連絡会]

▶開催日時 2013 年 9 月 5 日（木）10：30～12：00

開催場所 ANA インターコンチネンタル（赤坂）

テーマ

- 2013 年度第 1 四半期の業績概要
- 下期プラットフォーム編成
- 新商品について
- スカパー！アワード 2013
- スカパー！オンデマンドの近況について
- 10 日間無料放送における販促について
- プレミアムサービス光の MPEG2 放送終了とプレミアムサービスの H. 264 移行計画について
- 今後の新たな展開について

[事業者連絡会]

▶開催日時 2013 年 8 月 23 日（金）10：00～12：00

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- 2 週間お試し体験セットペーパーレステスト再実施について

- 会報誌 11月号以降のテーマのご案内
- 2013年度下半期広告メニューのご案内
- 2013年10月の10日間無料放送に向けて
- 10月の10日間無料放送施策に合わせた、公式サイト改修について
- お客様情報登録サイト「Myプロフィール」開設について
- 滞納されたお客様への支払方法変更について
- プレミアムサービス周波数再編・拡張計画の実施について
- 来年1月～3月の自動移行スケジュール詳細 他

▶ 開催日時 2013年9月27日（金）10：30～12：00

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- 弊社チャンネルでのラウドネス対応について
- プレミアムサービスチューナー、新DVRの事業者様向け販売について
- MPEGチャンネルの番付化募集について
- テロップ送出頻度変更のスケジュールについて
- 販売終了商品のミラー商品組成について
- スカパー！アワードの進捗ご報告 他

▶ 開催日時 2013年10月25日（金）10：30～12：00

開催場所 スカパーJSAT 本社

テーマ

- 10月の10日間無料施策 結果速報
- 大規模市場調査結果のご報告と下半期の普及促進施策について
- 視聴動向調査の進捗状況について
- 2014年4月 消費税率の改定に伴う対応について

【新商品説明会】

▶ 開催日時 2013年8月30日（金）10：30～12：00、9月13日（金）10：30～12：00

9月20日（金）10：30～12：00、10月18日（金）11：00～12：00

開催場所 スカパーJSAT 本社（8/30、9/13・20）、TKP 赤坂ツインタワーカンファレンスセンター（10/18）

テーマ

- 8/30 新商品のご提案
- 9/13 ご質問への回答
- 9/20 ご質問への回答（データ編）
- 10/18 110度サービスにおける新商品に関する参加意向伺い取りまとめ結果の共有他

[放送事業者の開閉局の動向 (2013年8月～10月)]

スカパー! : 開局 0ch | 閉局 0ch | 名称・内容等変更 2ch | 料金変更 0ch
プレミアムS : 開局 2ch | 閉局 15ch | 名称・内容等変更 13ch | 料金変更 7ch

(2) 普及促進委員会の開催状況

資料「21-3」に沿って、事務局より報告された。

9月から11月に開催された、親会3回分、ワーキンググループ3回分について報告があった。また親会については以下のような開催状況報告がなされた。

➤ 第63回 (2013.9.17)

1. ワーキンググループ報告

124/128委員会:「塩漬け商品」の受け皿について・自動移行が始まる1月からチューナー入れ替え施策実施・Cルート施策について

2. 現状報告

8月も引き続き新規獲得が弱く、中でもスカパーが予定を下回っている。プレミアムサービスは家電ルートの新規獲得が伸びていない。

3. MPEG2終了と移行について

経営者連絡会で詳細説明済み。その後、大きな変更無し。

4. スカパー新商品について

9/27事業者連絡会から焼く2週間かけて参加意向を伺った後、結果報告。10月末までに書面で最終確認予定。

➤ 第64回 (2013.10.22)

1. ワーキンググループ報告

Cルート施策で、無作為抽出10万件にDM。

124/128委員会ではJASRACを含めた著作権負担の問題でSPBCとレターのやり取り。

110委員会はトランスパング契約更改に対する説明会実施予定。

基本パック幹事会では110度新商品について、また14年4月の基本パック新規参入希望3チャンネルへの対応について議論開始。

2. 現状報告

4～9月合計で総計54,163件の純減。要因はスカパー新規獲得未達、プレミアム及びプレミアムサービス光のHD移行における解約増。プレミアムサービスは上期91,615件の純減、プレミアム光は同13,405件純減。

10月の10日間無料の10日間でのお試し体験数は58,755件。前回(6月)は84,361件。昨年同時期85,655件。70%程度という厳しい数字。

HD移行は9月22,367件、10月予想は約24,000件。

3. スカパー新商品

45チャンネルから参加の意向を得た。これを受け新商品スタート可能と判断。新商品の目的は、新規・新規の獲得がメイン、及び基本パックからの解約者(14～15万件/年)の受け皿としての商品の活用。内容としては5チャンネルの組み合わせ商品で名称は「セレクト5(ファイブ)」。販売開始日は2014年3月17日(月)インナー誌での告知から。

バイスルー可能で申入れは2013年11月29日まで。他パックと同額でのバイス

ルー設定のお願い次回の新規参加募集は2014年11月。

4. その他

5,000人規模のインターネット調査を実施。32%が有料放送に興味がない層で、これを除外した場合、残りの中で、【フレッシュ層】(有料放送未経験層)が市場全体の11%のみ。新規加入獲得のターゲットとなる【フレッシュ層】が想定より少ない。その獲得の外で、規模の大きい「過去経験層」「映像サービスのみ利用層」「競合加入層」を攻略していかななくてはならない。

ターゲットとなる「(加入意向の高い)高ポテンシャル層」をセグメントした結果、165サンプル出現＝世帯換算で132万世帯程度。スカパーの中身について与件を与えても220万世帯程度という規模感となった。これらを加味して考えると「過去経験層」もターゲットになりえるとの改めて認識。

これらの調査結果を踏まえ、現在の10日間お試し体験数減少傾向の中で、2月は新しい施策が必要。

➤ 第65回(2013.11.19)

1. 施策検討ワーキンググループ報告
2. 現状報告(スカパー10月の結果/MPEG2終了に向けて)
3. 「セレクト5」に関して
4. その他

5. その他

鳥居委員長及び石岡委員より、JASRAC著作権料の負担協議の件についての現況について質問があり、高井スカパーJSAT放送営業部長からは、前回(8月)委員会での報告から特段進展がない旨、報告がされた。

石岡委員からは、スカパープレミアムサービスにおけるH.264番供モデルへの転換の中で起きた事象であり、契約書上においても両社合意の基に番組供給事業者負担と定められていることは理解するものの、著作権法上は、基本的に放送事業者が負担するものであり、契約上でこの原則を排除することが妥当であるかどうか疑義があり、従ってこれら法的根拠等についてスカパーSAT社内で論点整理をしたほうが良いであろうとの意見があった。

以上